

## 平成29年度 事業報告書

特定非営利活動法人 日本老化防御医科学センター

## 1. 事業の成果

前々年度事業報告書に記載の各項目に関して、引き続き前年度も、その内容充実と発展に努めて継続遂行してきたが、その一例として、当法人より、老化防御医科学研究として、交流電解還元水の飲水によって血中抗酸化力の向上、全身DNA酸化損傷の抑制を介して、糖尿病マーカー（空腹時血糖値、HbA1c）改善、脂質代謝（LDL-コレステロール、中性脂肪）改善、肝臓機能（GOT、GPT、 $\gamma$ -GTP）改善などの抗メタボ臨床指標の改善を検証し、健康産業新聞（毎号6万5千部発行）に掲載され、国際学術誌に関連学術論文を2報掲載させた。さらに老化防御医科学の研究・業務に関連して25件奨学振興金を贈呈支給した。当法人の研究実績については、老化防御医科学の一環として、水素水によってヒト食道・歯肉・床ずれ潰瘍の創傷が治癒促進されることを見出したことが挙げられる。本年度も従来の活動に引き続き、国民の生命健康に直結する「老化／がん防御」の立場から社会貢献すべく活発に活動してきた。

## (1) 特定非営利活動に係わる事業

事業名	事業内容	実施日時 場所	従事者数	受益対象者 範囲・人数	支出額
老化防御研究 技術調査	老化防御の一環として抗メタボ・脳心臓血管障害に対する水素飲水・水素風呂による防御、水素ガス吸入による放射線障害防護、脂肪滴蓄積への水素吸蔵シリカ微粒子の抑制効果、および、人体への安全性徹底として水素の電解生成におけるオゾン・塩素・過剰酸素の排除	毎月第3土曜 14-17時、 代表理事宅等	4名 ネット対応も	老化・ガン 防御情報入 手希望者、 延べ11名	0
老化防御生活 プログラム 作成	老化防御実用化の上で、水素吸蔵シリカ微粒子の特性パラメータとして、水素発生量・溶存水素濃度・酸化還元電位など、水素の抗メタボ治療の臨床効果を裏付ける老化防御啓発活動「抗がん・老化防御効果と水素水」、「健康長寿・美肌と水素水」は当法人設立来注力し、生活プログラム提案を目指している。	各半期 第1日曜 14-17時 代表理事宅等	2名 ネット対応も	老化・ガン 防御実践プ ログラム希 望者、延べ 11名	0
老化防御に関 する相談業務	水素ミスト&水素ガス吸入・水素風呂・アトピー性皮膚炎・水素飲水・水素包含シリカ・皮膚アンチエイジングケアなどに関する実生活や製品効能の質問を健康食品・医療美容機器・医薬品メーカーなどから受け、学術調査・製品分析した上で回答した。	受付随時 回答17- 23時、理 事宅等	3名 ネット対応も	老化・ガン 防御の質問 者（延べ34 名）	0
製品調査・試験 評価	水素電解生成器、抗メタボ・抗老化・体脂肪燃焼・コラーゲン構築を謳った健康サプリが、各々販売されているが、消費者の有益性と安全性とのバランスの観点からの評価を進捗させた。特に老化防御をもたらすレスベラトロールのテロメアDNA防護を評価した。	随時、代 表理事宅・各企 業	2名	健康食品の 関連企業、 延べ13名	0
奨学研 究振興 金の贈 呈	老化防御医科学に携わる研究/業務へ奨学振興金として18件、4,851,793円を贈呈した。内訳は、臨床試験・水素風呂[内臓脂肪・腹囲]、臨床試験・活性酸素消去の水素効果試験、および、水素飲水[脂質代謝・肝臓機能改善]、直接的に老化防御に関与するテーマとした。	大学など の研究者 18名	2名	大学教 授・准教 授・講師な ど18名	485万 円余 り
学会・健 康関連 への貢 献	日本水素水振興協会・(一社)水素医療研究所・日本水素医療美容科学会は、老化防御素材となる水素ガス吸入・電解水素水・水素風呂・水素包含シリカに注力しているが、学術広報啓発活動および研究開発の実施支援を行なって、当法人として老化防御医科学の立場から社会貢献した。	年度半期 末など。 当該学会 事務局等	2名	当該研究 所・学会関 係者など 14名	0
当法人 の調査 研究拠 点確保	学術面だけでなく実生活に直結する面が老化防御医科学と水素医療美容科学の領域内では、不可欠であり、当法人が継続活動してきたが、その拠点として、10年来の広島県下での活動の他に、業務拡大として大阪府下でも重要性が増しているため、活動範囲を拡充している。	H25～ 29年度 法人内 部署	3名	当法人 関係者 3名	0
当法人 事務局 の業務 量の増 大への 対応	平成23～28年度に当法人の事務業務量が急増し、事務局員1名への業務負担が増大したが、その増加業務は下記の通りであり、当法人総会の決議「当法人事務局の執行業務実績」などに基つき、月額1.5～2万円だけの手当で対応している：①当法人の郵便・宅配便・銀行振込の手続き（年間30件以上と急増）、②研究機材費の伝票整理と業者支払い（年間28件）、③当法人預金通帳への入出金管理、④奨学振興金の贈呈準備・支払いと受領証保管整理、⑤当法人業務出張に関わる宿泊先手配・旅券手配・宿泊交通費の経理（年間約20件）、⑥当法人の研究材料購入・会議費などの出納と領収証保管整理、⑦大学などへの共同研究委託費と契約、⑧法人登記での追加手続きに関する広島県庁・法務局への問合せと書類作成・届出、⑨広島県北部県税事務所への法人県民税均等割の広島県知事承認の法人減免申請、⑩当法人資産である預金の管理銀行への利子所得税の課税優遇措置申請、その他。	平成22 ～23年 度当 法人 総会 で決 議済 み。 平成25 ～29年 度随 時	全員 署名 議事 録	当法人 事務局 事務員 1名	0

以上

# 平成29年度 特定非営利活動に係わる活動計算書

平成29年4月1日から平成30年3月31日


特定非営利活動法人 日本老化防御医科学センター

科 目	金 額	
I 収入の部		
1 入会金・会費収入 29年度会費 (100円×20人)	2,000	
2 財産運用収入	0	
3 事業収入 奨学金返還	0	
4 研究委託金	7,628,740	
5 その他 受取り利息	584	
当期収入合計	7,631,324	7,631,324
前期繰越収支差額		80,349,457
収入合計		87,980,781
II 支出の部		
1 事業費 奨学研究振興金・研究費	4,851,793	
研究機材費	0	
研究調査費	0	4,851,793
2 管理費 登録管理料	0	
学会費	14,000	
交通費・宿泊費	324,243	
社交費	0	
会議費	56,000	
通信費・払込手数料	35,881	
事務費	0	
物品購入費	518,195	948,319
		5,800,112
3 その他		
当期支出合計		5,800,112
当期収支差額		1,831,212
次期繰越収支差額		82,180,669

上記の通り相違ありません。

平成 30 年 5 月 5 日

日本老化防御医科学センター監事

山 田 佑 子 

平成29年度 特定非営利活動に係わる事業会計貸借対照表

平成30年3月31日現在

特定非営利活動法人 日本老化防御医科学センター

科 目	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金		
ゆうちょ銀行	27,706,091	
普通預金広島銀行庄原支店	6,253,585	
三井住友銀行鳳支店	48,220,993	
	82,180,669	
流動資産合計		82,180,669
2 固定資産	0	
		0
資産合計		82,180,669
II 負債の部		
1 流動負債	0	
2 固定負債	0	
		0
固定負債合計		0
負債合計		0
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産	80,349,457	
当期正味財産増加額	1,831,212	
正味財産合計		82,180,669

平成29年度 特定非営利活動に係わる事業会計財産目録

平成30年3月31日現在

特定非営利活動法人 日本老化防御医科学センター

科 目	金	額
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金		
ゆうちょ銀行	27,706,091	
普通預金広島銀行庄原支店	6,253,585	
三井住友銀行鳳支店	48,220,993	
	82,180,669	
流動資産合計		82,180,669
2 固定資産	0	
		0
資産合計		82,180,669
II 負債の部		
1 流動負債	0	
2 固定負債	0	
負債合計		0
正味財産		82,180,669